

【4-8 定性的システマティックレビュー 記入方法】

| | | |
|-------|---|--|
| CQ | 管理番号 | CQ の文章を記入。 |
| P | CQ の文章を補則する十分詳細な記述。タイミングやセッティングも必要に応じて記述する。 | |
| I | 介入の詳細。 | |
| C | 比較は 1 : 1 の比較が望ましいが、必要に応じて複数の比較を | |
| 臨床的文脈 | | 診療のプロセスのどこに位置づけられるか、診断、治療、予防、予後予測、その他のいずれに分類されるかなどを記述する。 |

| | |
|-------------|---|
| O1 | 害のように CQ の文章に表れない場合もあるがエビデンス総体の対象がわかるように記述する。 |
| 非直接性のまとめ | CQ と得られたエビデンス総体の間の乖離について記述する。介入の比較が非直接的である場合や日本人患者への適用に問題がある場合には必ず記述する。 |
| バイアスリスクのまとめ | 特に問題となるバイアスリスク、推奨の決定に影響を及ぼすバイアスリスクを記述する。 |
| 非一貫性その他のまとめ | 複数の研究間の相違の大きさ、信頼区間やバイアスリスクから判定した不確実性、効果の大きさなどについてまとめを記述する。研究デザインが異なるものをまとめた場合はそれについて記述する。 |
| コメント | このアウトカムに関するエビデンス総体の評価において特に注意すべき点があればそれを記述する。 |

| |
|----|
| O2 |
|----|

| |
|----|
| O3 |
|----|